



# 中村みよる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

中村議員  
明言

## 十分な議論なし

船橋市選出で3期目の中村実県議は、12月定例議会で一般質問に登壇し、継続して追及している「多様性条例」案について県執行部の考えを鋭くたし、「賛成できない」と明言しました。また、債務を抱える東葉高速鉄道や犯罪被害者への支援、学校施設の開放、ホンビノスガイなど身近な課題についても質問しました。その概要をお伝えします。

## 『多様性条例』必要なし

### 12月県議会・一般質問

●**条例制定の意義**  
中村議員 多様性条例案にある考えは、県の施策を推進する中でも、すでに実施されている内容でもあり、わざわざ条例を制定する必要を感じない。そこで質問する。  
多様性条例を制定する必要はないのか。  
総合企画部長 令和4年



12月県議会一般質問に登壇した中村県議

### 意見

文言の修正がなかったということは、意見公募に当たったの骨子案が示される前に、全ては決まっていたと言える。

当事者団体の分野は限定され、1団体のみとの意見交換しかなかったことを、各分野の当事者団体の方々が耳にしたら、驚かれるに違いない。お判りの通り、多様性

尊重条例とは、LGBT等尊重条例である。本案についての私の考え、社会的な議論、そして議案が示されるまでの経緯に鑑みて、私は賛成できない。

人口減少やグローバル化の進展など、様々な社会環境の変化に的確に対応するために、多様性がもたらす活力や創造性が重要であるとの認識のもと、この条例を制定し、本県の持続的な発展につなげていきたいと考えています。

●**有識者会議の設置**  
中村議員 埼玉県が設置している施策推進会議のような、多様性条例に基づいた有識者会議を設置する考えはあるのか。

総合企画部長 条例に基づき、新たに有識者会議を設置する考えはありませんが、各分野の有識者会議等を活用するとともに、様々な関係者から意見を伺いながら、具体的な施策を検討・推進していきたく考えています。

●**意見を反映する考え**  
中村議員 広範囲に当たり示された骨子案に対し、寄せられた意見や、議会の僅かな議論は、その後一切、反映されなかった。始めから条例に反映する気はなかったのではないかと。総合企画部長 先日行ったパブリックコメント(ハプロ

## 制定後も危惧

### 十分な議論が必要

中村議員 私も2月の予算委員会でも十分な議論も求めたが、条例案を示す前の議論であり、議会は9月議会のみだった。このように議会の十分な議論を経ずに条例を提案することは性急ではないか。

総合企画部長 本条例は、令和5年2月議会で制定を表明して以降、毎議会、本会議等の場で県議会の皆様から御意見を伺うとともに、国や他自治体の状況等を調査分析し、有識者からの情報収集や当事者団体との意見交換等を行ってまいりました。

また、「一般財団法人タイバシーティ研究所」から多様性推進の意義等について話を伺ったほか、国や他自治体の状況

### 検討段階の意見交換

中村議員 骨子案検討の段階で、条例案の対象となる各分野の当事者団体と意見交換を行ったと思うが、その団体の数と名称は、また、意見交換の内容はどのようなものだったのか。

総合企画部長 LGB Tの当事者団体である「レインボー千葉の会」と、当事者の現状や行政の取組状況等について意見交換を実施しております。

また、「一般財団法人タイバシーティ研究所」から多様性推進の意義等について話を伺ったほか、国や他自治体の状況

### 科学的な知見動向

中村議員 性自認について考えるには、科学的な知見を学び、参考にするには、科学的な知見を学ばない。脳科学、生殖科学、生命科学、行動生態学の科学

的知見を動向として、条例案に性自認を盛り込んでいるのか。総合企画部長 科学的知見について様々な研究があることとは承知していますが、今回の条例案に盛り込むにあたっては、実際に生きている方々を抱えている方がいっぱいいること、それを解消する必要があるので、考え方から載せております。

●**条例制定後の性教育**  
中村議員 本条例案を読むと、性の多様性尊重条例ではないかと私は理解してはいる。埼玉県の条例を鑑みると不安が募るばかりだ。そこで質問する。多様性条例制定後に、包括的性教育や行き過ぎた性教育の導入を危惧しているか、教育長の見解はどうか。

教育長 学校における性に関する指導については、学習指導要領に基づき、計画性をもちて実施することが大切であると考えています。

各各学校においては、児童生徒等の発達段階を踏まえるとともに、学校全体の共通理解を図り、保護者や地域の理解を得ながら実施していることを承知しています。

## 中村みよるプロフィール

### 経歴

- 昭和42年9月生まれ 西海神小、葛飾中、県立八千代高、中央大学法学部法律学科卒業
- 平成3年4月 住友重機械工業入社
- 平成11年4月 船橋市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成27年4月 県議会議員初当選 (3期連続当選)

### 現職

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員長



再質問する中村議員

# 犯罪被害者の支援 実情を知らせる広報も

中村議員 犯罪被害者やご遺族が日常を取り戻すには行政警察、弁護士、民間による切れ目なく手厚い支援が必要である。

本県では、令和3年、私も携わって議員提案により成立した「千葉県犯罪被害者等支援条例」の下、犯罪被害者を社会全体で支え、県民誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け、取組が進められている。

犯罪被害者週間中の11月26日、私は「千葉県民の集い」に参加し、犯罪被害者支援を進めるには、内容や体制の充実はもとより、犯罪被害者の声や周囲の取組について多くの人に知っていただくことが必要と改めて認識した。そこで何うか。

●**広報・啓発への取組**  
犯罪被害者支援に関する広報・啓発に、どのように取り組んでいるのか。環境生活部長 犯罪被害に遭われた方に再び平穏な生活を取り戻していただくためには、確実に支援に繋げ、社会全体で支援を行っていくことが大切です。そのため、様々な支援策の周知とともに、県民の皆さまに被害

者支援への理解を深めていただくことが重要と考えています。そこで、県では、市町村や支援団体、弁護士会等と連携し、リーフレット等により、相談対応や法律支援、生活支援などの被害者支援を行う窓口について、広く周知に努めます。

また、被害者やその支援者の声を直接聞いていただく講演会や、街頭キャンペーンなどを行い、被害者支援に関する広報・啓発に取り組んでいます。

# 東葉高速鉄道 国の支援求む



1日約14万人が利用する東葉高速鉄道

●**重要な公共交通機関**  
中村議員 東葉高速鉄道は、八千代市と船橋市の発着及び両市から都心へのアクセス向上を目的に、県や沿線市、鉄道事業者が出資する第3セクターとして平成8年に開業し、今や通勤・通学の足として欠くことのできない重要な公共交通機関として定着している。

しかし、建設時に抱えた多額の有利子負債が、開業から27年経った今でも経営上の課題となっており、同鉄道も、経費節減などの経営努力に取り組んではいるが、経営安定化を図るには、収入を増やす取組が大変重要だと考える。

●**身近な学校施設の開放**  
中村議員 県では、県民の貴重な財産である県立学校の体育館やグラウンドなどの体育施設を、教育活動に支障のない範囲で有効活用を図るため、県立学校体育施設

の貴重財産である県立学校の体育館やグラウンドなどの体育施設を、教育活動に支障のない範囲で有効活用を図るため、県立学校体育施設

●**国への働きかけ**  
中村議員 同鉄道は、日本鉄道建設公団が事業者に代わって建設し、完成後に事業者が譲り受けて建設費を償還する方式を採用せざるを得なかったことで、多額の有利子負債を抱えて開業することになった。

近年は、利用者の堅調な増加によって業績は好調に推移しているが、高運賃問題が残っているのは、こうした経緯に起因している。

このため、県では、毎年度実施している、国の施策に対する重点提案・要望において、鉄道・運輸機構に対する多額の長期債務の縮減や利払いの軽減などを要望しているところであり、引き続き、粘り強く働きかけてまいります。

# 通勤通学の“足”“守れ”

成8年に開業し、今や通勤・通学の足として欠くことのできない重要な公共交通機関として定着している。

このため、同鉄道では、第七次経営改善計画に基づき、企画乗車券の発売、駅構内及び高架下の有効活用、イベントの実施等により、運輸収入及び関連事業収入の確保

●**国への働きかけ**  
中村議員 同鉄道は、日本鉄道建設公団が事業者に代わって建設し、完成後に事業者が譲り受けて建設費を償還する方式を採用せざるを得なかったことで、多額の有利子負債を抱えて開業することになった。

近年は、利用者の堅調な増加によって業績は好調に推移しているが、高運賃問題が残っているのは、こうした経緯に起因している。

このため、県では、毎年度実施している、国の施策に対する重点提案・要望において、鉄道・運輸機構に対する多額の長期債務の縮減や利払いの軽減などを要望しているところであり、引き続き、粘り強く働きかけてまいります。

# 身近な学校施設の開放 更なるプラススポーツの場を

●**身近な学校施設の開放**  
中村議員 県では、県民の貴重な財産である県立学校の体育館やグラウンドなどの体育施設を、教育活動に支障のない範囲で有効活用を図るため、県立学校体育施設

の貴重財産である県立学校の体育館やグラウンドなどの体育施設を、教育活動に支障のない範囲で有効活用を図るため、県立学校体育施設

●**国への働きかけ**  
中村議員 同鉄道は、日本鉄道建設公団が事業者に代わって建設し、完成後に事業者が譲り受けて建設費を償還する方式を採用せざるを得なかったことで、多額の有利子負債を抱えて開業することになった。

近年は、利用者の堅調な増加によって業績は好調に推移しているが、高運賃問題が残っているのは、こうした経緯に起因している。

このため、県では、毎年度実施している、国の施策に対する重点提案・要望において、鉄道・運輸機構に対する多額の長期債務の縮減や利払いの軽減などを要望しているところであり、引き続き、粘り強く働きかけてまいります。

# 中村みのる駅頭議会報告

- 月曜日 リクエスト対応
- 火曜日 下総中山駅南口
- 水曜日 JR船橋駅北口
- 木曜日 JR津田沼駅北口
- 金曜日 西船橋駅北口

時間はいずれも午前6時30分～8時30分(公務のために変更の場合もあります。)

●**県政と船橋市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。**

**中村みのる** 県議 TEL.047(433)4047  
事務所 FAX.047(433)4024  
〒273-0031 船橋市西船4-29-17 ルーラル5番館1F